



令和7年度福山大学公開講座

50周年記念：次世代へつなぐ ～ 備後地域の未来創造とサステナビリティ～

参加費無料

定員130名

【毎週土曜日】11:00～12:00

福山大学 未来創造館2階大講義室(C0201)

対面講座（全5回）10/25は除く

第1回 工学部 准教授
9/27 今井 勝喜

第2回 人間文化学部 教授
10/4 中島 学

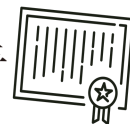
第3回 薬学部 講師
10/11 松岡 啓輔

第4回 経済学部 准教授
10/18 大城 朝子

第5回 生命工学部 准教授
11/1 吉崎 隆之

※講座の詳細は裏面をご確認ください。

4講座以上の対面受講者に修了証書を授与



オンデマンド配信

以下の配信期間、全5講座すべて無料配信

期間 **9月27日 12:00** **11月1日 12:00**
事前に作成した講師の動画を「Youtube」にて公開します

視聴方法

右記のQRコードまたは大学HPの
リンクよりご視聴ください



申込方法

QRコードまたは、
WEBサイトからお申込みいただけます

福山大学 公開講座 検索

（個人情報の取扱いについて）
個人情報につきましては、本公開講座に関する連絡以外に使用することはありません



お問い合わせ

福山大学
総務部 企画・文書課

〒729-0292 福山市学園町1番地三蔵

TEL：(084) 936-2111

主催：福山大学

後援：福山市教育委員会

令和7年度福山大学公開講座

50周年記念:次世代へつなぐ

～ 備後地域の未来創造とサステナビリティ～

令和7年度は、本学の開学50周年を迎える節目の年となります。開学から半世紀にわたり、備後地域における教育・研究で果たしてきた役割は大きいと考えます。これまでの実績や貢献を踏まえ、備後地域の未来や持続可能性を考える契機とするため、「50周年記念：次世代へつなぐ～ 備後地域の未来創造とサステナビリティ～」というテーマを設定しました。本講座では、備後地域の自然、生活様式、風土、そしてそれらを基盤とする多様な産業について、多彩な講師陣が多角的な視点から解説します。最新の研究成果や注目すべきトピックスも交えながら、わかりやすく紹介いたします。

工学部 今井 勝喜 准教授

自然の為に計算に学ぶ：次世代コンピューティングの源流

自然計算とは、「自然の中で観察される計算過程と、自然に触発された人為的計算を扱う研究分野」です。現在では標準的なデジタル計算機も、登場当時は一般的ではない「自然現象を活用する計算（非通常計算）」と見なされていました。同様に、近年注目されているニューラルネットワークや量子コンピュータも、その源流は「自然に触発された人為的計算」や「自然の中で観察される計算過程」にあります。このように、自然が行う計算を探索する自然計算は、一見すると非主流に思える計算過程や手法であっても、新たな計算パラダイムとして発展する可能性を示唆しています。自然計算は、情報学、物理学、化学、生物学など多数の研究分野にまたがる学際領域です。



人間文化学部 中島 学 教授

刑法・少年法改正に伴う犯罪や非行からの更生支援の新たな展開

刑法が100年ぶりに改正され、これまでの懲役刑等が拘禁刑に変更され、また、少年法の適用年齢も変更されたことにより、犯罪者や非行少年に対する更生支援の取組も大きな転換期をむかえています。特に、矯正施設と呼ばれる刑務所や少年院においては、様々な新たな支援や指導が展開されてきています。そこで、このような刑事司法の変化の背景と、矯正施設における更生支援の実態と課題等に関してその理念を踏まえつつ、概観してみたいと思います。



薬学部 松岡 啓輔 講師

薬剤師の業務紹介と活用法 そして、福山大学で薬剤師が誕生するまで

医療のことで相談したい時に、かかりつけのお医者さんを受診して相談するか、なぜか近所の方に相談するのが多いのが通例です（近所の方の謎の影響！）。薬剤師にも相談できることをご存じでしょうか。処方箋に関わる薬剤師の仕事内容で、例えば「薬をもらうときになぜ医者にした内容を再度聴かれるのか？」と疑問をお持ちでしょう。もっと知りたい薬剤師の仕事と、少し役に立つ豆知識を話します。当大学の薬学部では将来の薬剤師を養成しています。薬学部生がどのような試練を経て世の中で薬剤師として活躍できるようになるのかをご存じでしょうか。備後地域の次世代を担う薬剤師の誕生秘話ストーリーも知っていただき、今後も温かい目で応援していただければ幸いです。



経済学部 大城 朝子 准教授

サステナビリティを"見える化"する？

～備後地域とSDGsのための会計のチカラ～

環境や社会に配慮した「サステナブル経営」が注目される中、企業はどのようにその取り組みを「見える化」できるのでしょうか？SDGs（持続可能な開発目標）と環境会計は、共に持続可能な社会の実現に向けた取り組みであり、深い関係があります。環境会計を導入している企業の先進事例や備後地域の事例についての研究成果をもとに、実際の現場でどのような工夫や課題があるのかをわかりやすくご紹介いたします。「会計って難しそう…」と思う方にも、数字の裏にある地域企業の想いや戦略を感じていただけるはずです。持続可能な地域の未来に向けて、会計ができること、一緒に考えてみませんか？



生命工学部 吉崎 隆之 准教授

福山をワインの街に！10年の歩みと未来への展望

生物科学科では地域特産のブドウによるワイン醸造を教育や研究に取り入れ、また本学と福山商工会議所、福山市、市内ワイナリーなどで組織する備後福山ワイン振興協議会では、「福山をワインの街に！」というスローガンのもと地域連携に取り組んでいます。最近では赤色色素を分泌する「ナラノヤエザクラ」由来の酵母をワイン醸造へ応用することで特許を取得し、この酵母を用いて山野峡大田ワイナリーと共同開発したワイン「さくら」を完成させ、世界バラ会議福山大会のレセプションに提供したことなどが話題になりました。本講座では、本学でのワイン研究の成果や、ワインを核にした地域連携について、この10年の歩みについてご紹介いたします。

